2021 年度 大気中水銀バックグラウンド濃度等のモニタリング調査結果について

The Knights

環境省では、国内の発生源による影響を直接受けにくい地点（バックグラウンド地点）である沖縄県辺戸岬及び秋田県男鹿半島において、水銀の大気中濃度等のモニタリング調査を実施し、2021 年度の結果を公表しました。この調査は 2007 年度より毎年行われています。

今年度の調査においては辺戸岬、男鹿半島ともに大気中水銀濃度等は、指針値等を十分下回り、これまでの調査結果とも大きな乖離はありませんでした。

大気中の形態別水銀濃度の合計の年平均値は辺戸岬において 1.7ng/m^3、男鹿半島において 1.6ng/m^3 であり、環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値（年平均値 40ng/m^3）を十分下回る数値でした。

また、降水中の水銀濃度の年平均値は辺戸岬において 5.3ng/L、男鹿半島において 5.5ng/L でした。降水中の水銀濃度の指針値等はありませんが、水銀に関する水質汚濁に係る環境基準値 0.0005mg/L（500ng/L）に比べても低い値となっています。

当社では、水銀をはじめとした有害金属の環境分析、作業環境測定などにおいて、長年の実績があります。お気軽にお問い合わせください。

資料 2022 年 9 月 27 日付 環境省報道発表資料

無機分析箇所 赤石大輝

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社
〒336-0015 さいたま市南区大字太田窪 2051-2
TEL.0120-01-2590 FAX.048-886-2817
URL：www.knights.co.jp

当社では毎月メールマガジンを配信しております！
情報はよく目にするが情報量が多い。情報はあるけれど理解しづらい文章が多い。そのような お悩みを解決すべく、なるべくわかりやすい文章で、最新情報や時期的に必要と思われる情報をメールマガジンにしてお届けしています。ご了承いただければ配信致します。
お問合せはこちら